



西外観 台形柱を反転しながら配置することで、時間や人の動き、天候に合わせて表情が移り変わる

ひとつ屋根の下、連続シェアリビングがつなぐ250人の暮らし

竹中工務店の新入社員が1年間共同生活を行う教育寮の建て替え計画である。旧寮伝統の相部屋を個室化するにあたり、さらなる交流を促進するように、建物の中央に設けた大きな余白のある共用部（リビング）を寮生全員でシェアする構成とし、寮生同士が互いの領域を共有しあうことで、豊かな共感性と新しい未来へ繋がる想像力が育まれる場となることを期待している。



寮生の動線の中央に位置し、多様な集まり方のできるメインリビング



10室ごとに設けたリビング同士のつながり

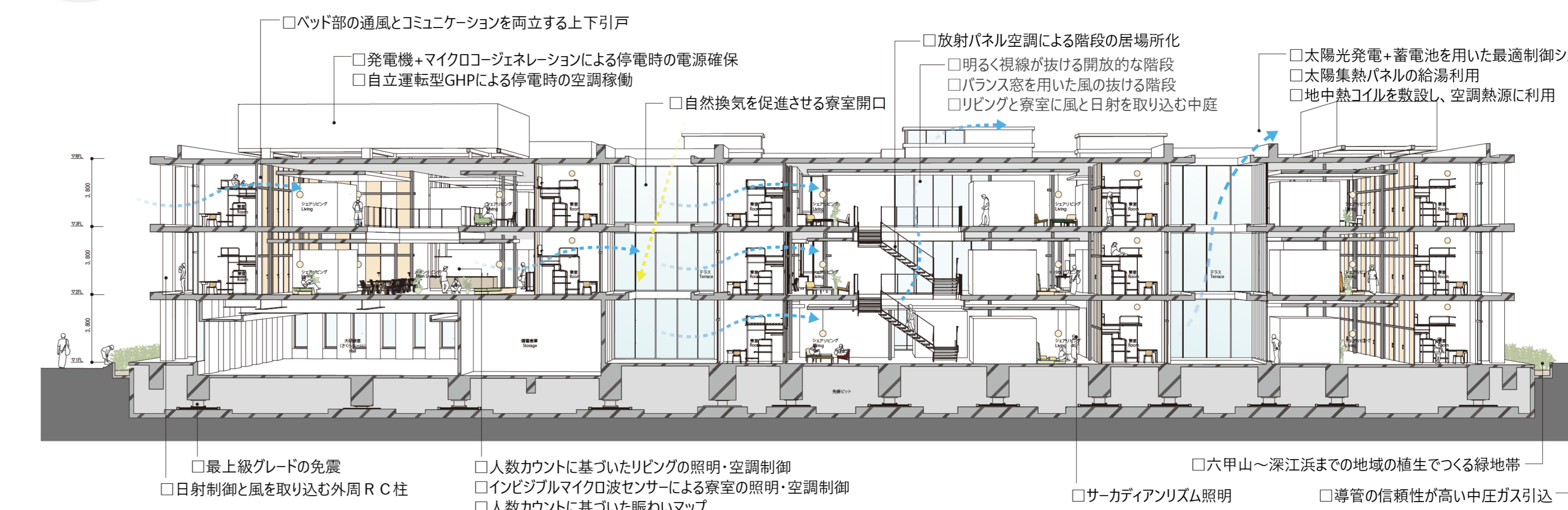
2層使いの寮室



SHARE LIVING  
最小床面積ながら最大容積を確保する2層使いの寮室を10室で1つのまとまりとし、リビングを内包するようにL型配置している。そのまとまりを反転・連続させることで生まれる中央の大きな共用部を寮生全員でシェアする構成とした。

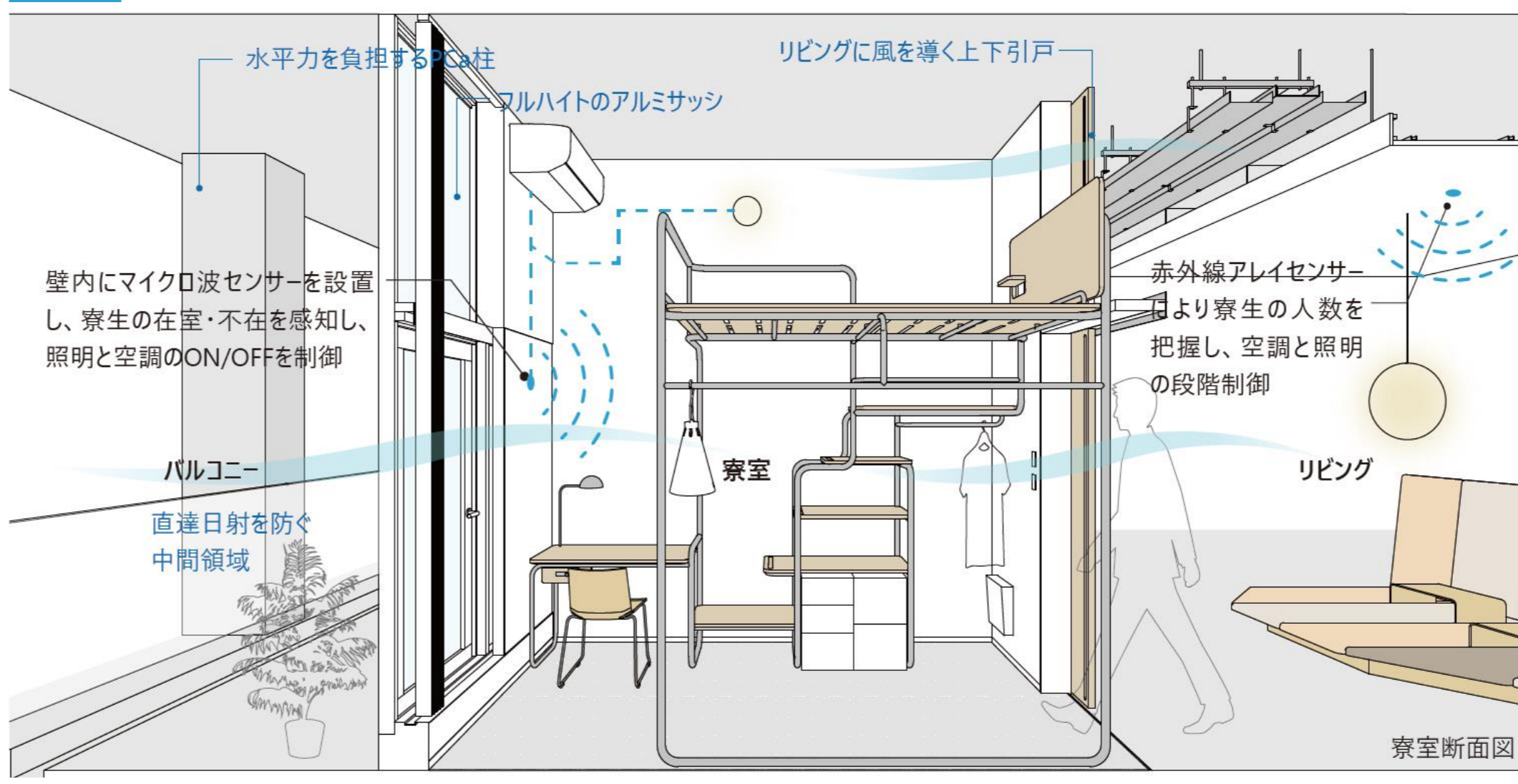
健康的な生活を通して、寮生の環境意識を高める建物づくり

**集合住宅として日本初のWELL認証取得**  
健康的な食事と地域に開かれた明るい食空間やリビングから視認性の高い階段配置による歩行の促進、空気環境を整える設備機器の導入等により、集合住宅としては日本初のWELL認証（シルバー）を取得した。



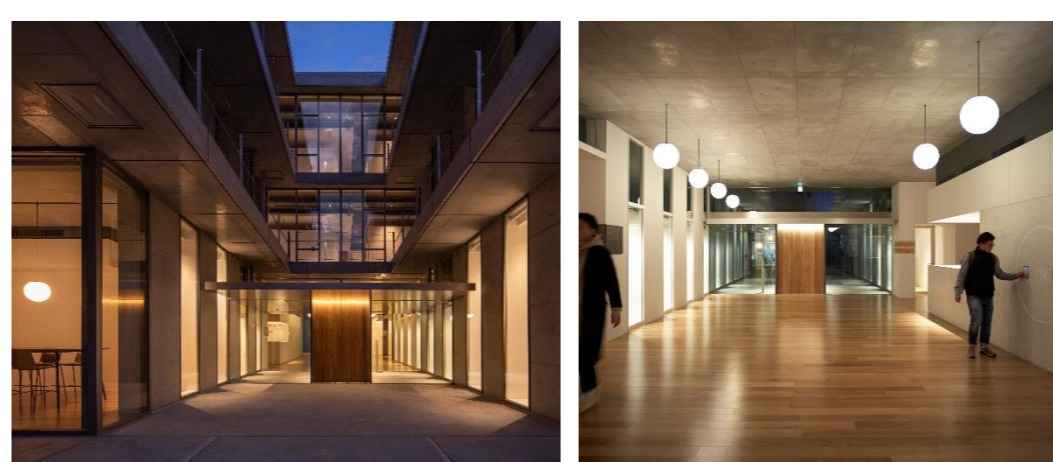
**エネルギー消費量を半減し、ZEH-M Readyを実現**  
外皮性能向上、高効率システム導入等により、快適な室内環境を維持しつつ、基準値の半分以下のエネルギー消費量を実現した。寮生同士の交流促進と省エネを両立する仕掛けは、寮生自身による能動的な環境行動誘発にもつながっており、将来の建設業を担う寮生への環境教育に寄与している。

**寮室** マイクロ波センサーを活用した寮室内の消し忘れ防止  
**リビング** 寮生の人数に応じた空調・照明の段階制御と見える化



寮生の生活の中心となる寮室は、壁内に隠蔽されたマイクロ波センサーにて寮生の在室を感知し、不在後一定時間を経過すると照明・空調が停止する制御とし、消し忘れを防止する計画とした。交流の中心となるリビングは、赤外線アレイセンサーにより人数に応じた照明・空調の段階制御を行っている。またその信号を賑わい度として見える化し、寮生の交流と省エネの促進を図っている。

**照明** サーカディアンリズム照明と最小限の点光源による光の振り所



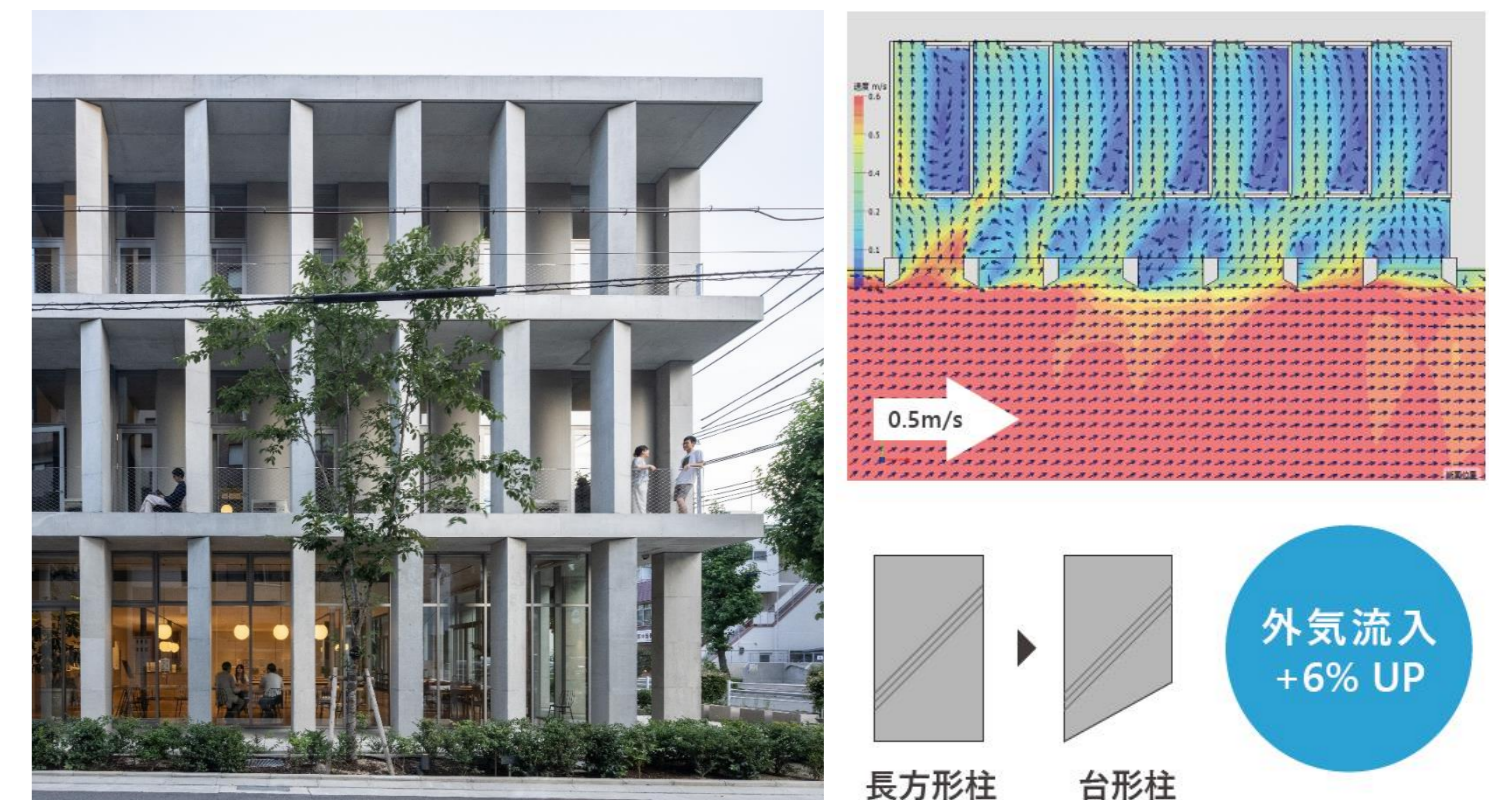
寮生の集まりの象徴として点光源を基本とし、サーカディアンリズム照明により健康への配慮と快適性向上、省エネを図っている。また内部の常夜灯から滲み出る光を外構照明として活用し、地域を照らす光の振り所を作り出している。

**植栽** 地域の緑の記憶をつなぐランドスケープ



草原生植物を守る保全団体の地域貢献活動に参加し、六甲山系固有の草原生植物を植え付けた植栽が地域と内部を緩やかにつなぐ。

**外装** 日射と視線を制御し、風を引き込む外周PCa柱



建物の水平力を負担する外周PCa柱は、寮室への日射を制御するブリーズレイユの役割を果たしながら、寮室の前に中間領域を形成している。さらに柱の平面形状を台形とすることで寮室へと風を引き込み、内部空間の快適性を向上する構造柱としている。

建物概要

- 建築主：株式会社竹中工務店
- 設計者：株式会社竹中工務店
- 施工者：株式会社竹中工務店
- 所在地：神戸市東灘区深江北町2-10-12
- 構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、免震構造
- 階数：地上3階
- 延床面積：6,189.97㎡
- 竣工：2019年10月
- 寮室数：275室
- 寮室占有面積：6.84㎡/室

